

みんなで考え、つくるシタラ

アウトドアのまち したら

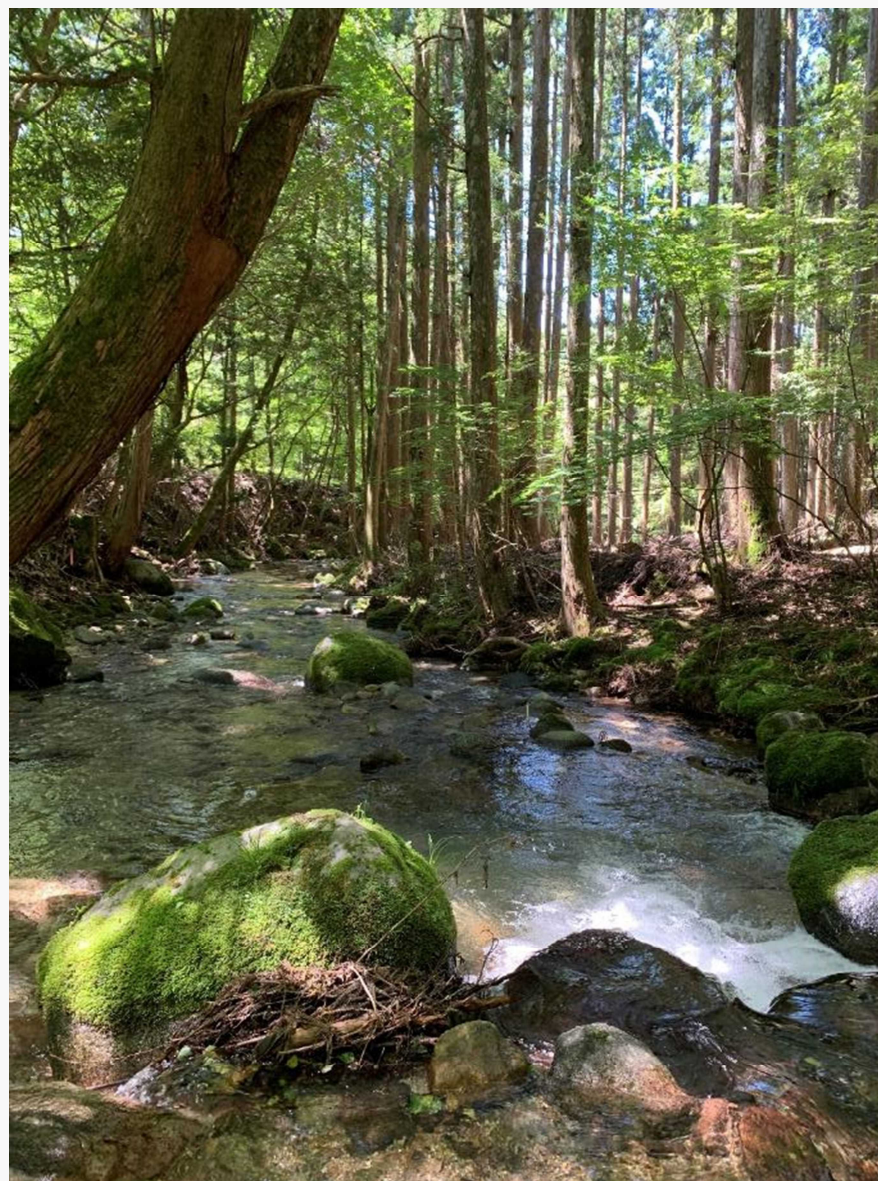
アウトドアまちづくり推進室

アウトドアのまち したら

設楽町は豊川、矢作川、天竜川の3つの水系の水源地です。

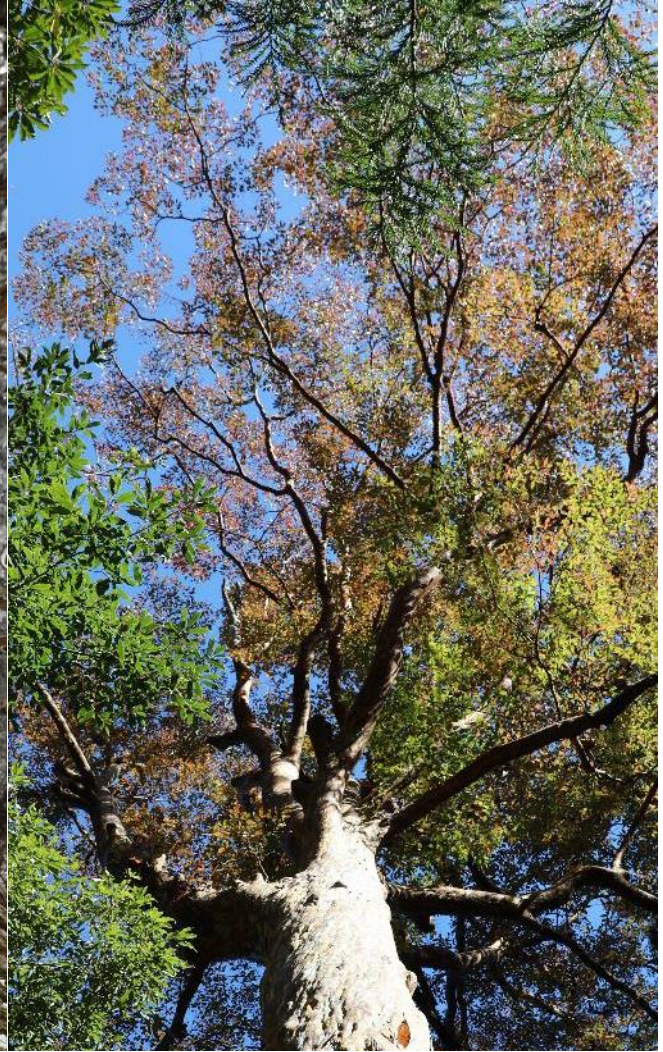
そこに住む人々は、古くから川を大切にし、山を育て、田畑を耕し、豊かな自然環境と共生した暮らしをしてきました。

「アウトドアのまち したら」とは、設楽町での豊かな暮らしを未来へ繋いでいく取組です。



【アウトドアのまち したら】の軸

1. 多様な生態系を持つ設楽の自然環境を、地域住民や企業等と共に学び、使いながら育て、守る
2. 先人が紡いできた歴史や文化、地域活動などの設楽らしさや自然環境を尊重し継承する次世代人材の育成
3. 設楽町のみならず、近隣地域も含めた地域経済への貢献
4. ネイチャーポジティブな商品開発等への支援
5. 地域住民や企業等、コミュニティとの連携・活動促進



1. 多様な生態系を持つ設楽の自然環境を、地域住民や企業等とともに学び、使いながら育て、守る

【取組案】

- アウトドアのまちしたらの旗印ツール作成(ロゴ等)
- 定期的なアウトドアカレッジ開催
- アウトドアカレッジやイベントを通じた仲間づくり、ファンづくり(仲間のコミュニティプラットフォーム)
- オリエンテーリングやパワートレイル等の冠を「アウトドアのまちしたら」へ。
定期的なイベント開催、情報発信媒体(HP,SNS,YouTube発信、四季折々のPV作成 等)

写真出典:設楽町観光協会



2. 先人が紡いできた歴史や文化、地域活動などの設楽らしさや自然環境を尊重し継承する次世代人材の育成

【取組案】

- 定期的なアウトドアカレッジ開催(再掲)
- 新規の町内イベントの開催、全国のアウトドアイベントへの参加
- 地域おこし協力隊の活用アウトドア人材の採用
- 全国先進地の視察と横の繋がりづくり(熊本県水上村 等)
- 設楽町内の登山道や古道の調査、整備活動、地図の作成
- 学校教育等での環境学習、森のようちえん等既存活動との連携 等



4. ネイチャーポジティブな商品開発等への支援

【取組案】

- ダム施工業者等と連携し、廃材を用いたイベント等の開催
- アウトドア環境から学ぶ環境保全意識の醸成
- GP等と関係性のある企業(新富士バーナー等)を設楽町へ連携
- 商品づくりを通して「アウトドアのまちしたら」の売り出し

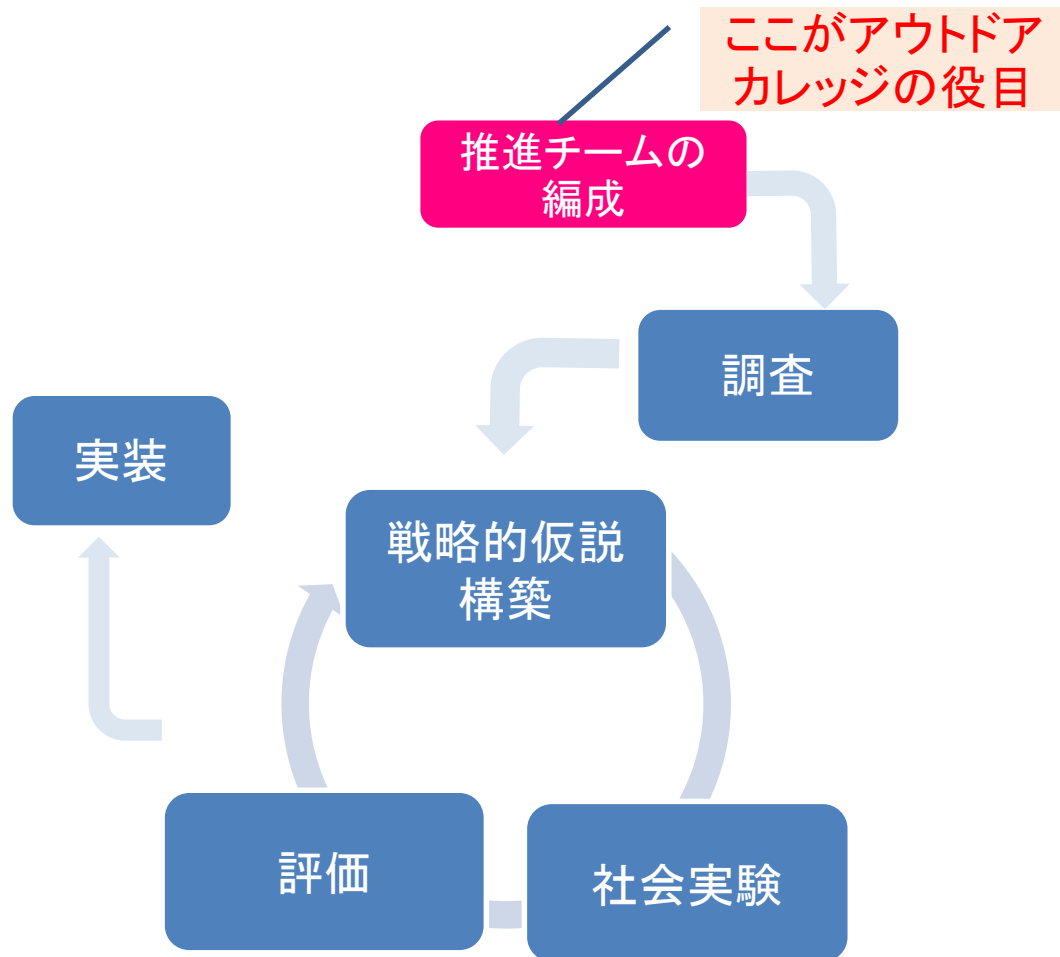


5. 地域住民や企業等、 コミュニティとの連携・ 貢献

【取組案】

- 設楽町商工会が企画している夜市の支援(再掲)
- 定期的なアウトドアカレッジ開催(再掲)
- 設楽町の観光資源でもある森林を活用したスポーツイベントの開催
- 既存の町内外イベント等との連携

事業の進め方



○推進チームの編成

アウトドアカレッジで「やってみよう！」という人々と推進チームを編成する

○調査

事業を遂行するために必要な社会条件、自然条件等を把握する

○戦略的仮説構築

この事業を行うことで得られる未来のイメージを共有

○社会実験

できることからはじめてみる。多様な関係者を巻き込み、ビジョンを共有し、実現への気運を作る

○評価

フィードバックを得ることで、どうすればこの事業がうまく進むのか、何が課題になっているのかがわかる。

○実装

精度が高まったプランは実装に向けて踏み出す。新しいイノベーションやアイデアが生まれ、さらなる事業展開への連鎖が起きる。

【フィロソフィー】 「アウトドアのまちしたら」とは、設楽町での豊かな暮らしを未来へ繋いでいく取組

戦略・戦術（当面10年）

2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030 2031 2032 2031 2032

ダム本体工事
開始

設楽ダム
試験湛水

アジアジュニア・ユースオリエン
テーリング選手権大会(2025年)

リニア中央新幹線新駅開業
(2027年、中津川市)

設楽町制20周年(2025年)

三遠南信自動車道
東栄IC～鳳来峡IC間開通予定
(2025年)

大阪万博の開催(2025年)



～2032年

●「ダム建設というインパクト」も活かし、人と人、企業の繋がりを深め・強化し、ダム完成後にも設楽の豊かな暮らしが継続できる世界を作る（誰もが心地よく、暮らしやすい寛容な世界＝アウトドアのまちしたら）

※KPIの設定

【評価指標案】

- 地域おこし協力隊の数・起業者数
- アウトドアカレッジの参加者数
- アウトドアカレッジから生まれた事業数
- 関わった企業数 など

○倍増

